

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次 代

第138号 2014.10

愛知県青少年育成県民会議の会長が岡谷篤一氏から永井淳氏に引き継がれました。

会長就任にあたって

会長 永井 淳

平成26年5月26日に開催されました総会において、皆様からの御承認により、会長を仰せつかることとなりました。

会長という職責の重さに、身の引き締まる思いであります。

さて、人口減少社会に入った現在、次代を担う青少年が、豊かな社会性と優れた創造力、そして、自立した人間として成長できるよう健全育成に取り組んでいくことは、ますます重要なものとなっております。

微力ではございますが、青少年の健全育成のために最善を尽くしてまいりたいと存じます。

参加機関・団体の皆様におかれましては、どうか今後とも、青少年健全育成に一層御尽力いただきますとともに、引き続き、この愛知県青少年育成県民会議に、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



会長退任にあたって

前会長 岡谷 篤一

この度、平成14年度から務めさせていただきました会長を退任することとなりました。会長という職責を無事に全うできましたことは、皆様の御理解、御協力あつてのこととございまして、参加機関・団体の皆様には、厚く御礼申し上げます。

振り返りますとこれまでの間、世の中では様々な出来事がありました。

中でも、平成23年3月に発生した東日本大震災については、大変多くの方が亡くなるなど、深刻な被害が発生したことは、今でも、大変心が痛む思いであります。

そのような中、被災後の様々な場面において、被災者を支援するボランティア活動などに若者が多数参加されており、その一生懸命な姿を見てみると、頼もしさを感じるとともに、我々が望む、「思いやり」や「助け合い」といった共助の精神が、しっかりと育まれていることを喜ばしく思う次第であります。

日頃、我々が実施している青少年健全育成の各種運動、取組が、少なからず世の中、そして、次代を担う青少年にとって役立っているものと思います。

最後になりましたが、参加機関・団体の皆様方には、ますますのご発展、ご活躍をお祈りするとともに、永井新会長のもと、引き続き、青少年の健全育成にご尽力いただきますようお願い申し上げます。



CONTENTS

- ・表紙 新旧会長挨拶.....1
- ・新会員団体の活動紹介.....6
- ・第45回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者のみなさん.....2
- ・青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動.....7
- ・私の意見 -子供と共に成長できる場所-.....3
- ・保護者のための 体験！体感！スマホ教室.....7
- ・平成26年度少年の主張愛知県大会の開催.....4
- ・青少年により本をすすめる県民運動読書感想文募集案内.....8
- ・最優秀賞作品紹介「自分を乗り越えて」.....5
- ・子ども・若者育成支援県民運動強調月間.....8

第45回 愛知県青少年育成県民会議 青少年団体等の表彰受賞者のみなさん

日頃の青少年活動や青少年の育成指導活動の功績が認められ、次の方々が、平成26年5月26日に開催した県民会議の総会で表彰されました。おめでとうございます。今後の一層のご活躍を期待します。



表彰受賞者名簿

◆ 個人の部（青少年）		
氏 名	住 所	所 属 団 体
滄木 寿広	豊 橋 市	大崎文化保存会しおかぜ太鼓
浅井 祐紀	名古屋市天白区	南山高等学校
原田 佳祐	東 海 市	Lickle（リコ）

◆ 個人の部（青少年育成者）		
氏 名	住 所	所 属 団 体
氏家 邦政	半 田 市	日本ボーイスカウト愛知連盟
神本 宣親	安 城 市	日本ボーイスカウト愛知連盟 安城第1団
近藤 金博	あ ま 市	愛知県子ども会連絡協議会
鈴木 潤子	名古屋市北区	北区子ども会育成連絡協議会
成田 松則	春日井市	日本ボーイスカウト愛知連盟 春日井第5団
彦坂 伸明	田 原 市	田原市青少年健全育成推進 協議会
深草 正博	名古屋市北区	中日こども会
森 茂行	大 治 町	名城大学附属高等学校ダンス部
山内 匠	名古屋市昭和区	愛知県モラロジー協議会青年クラブ
渡邊美智代	名古屋市西区	愛知県青少年育成アドバイザー 連絡協議会

◆ 団体の部（青少年団体）	
団 体 名	所 在 地
愛知啓成高等学校ボランティア部	稲 沢 市
愛知県立三谷水産高等学校ボランティア部	蒲 郡 市
海部4Hクラブ連絡協議会	弥 富 市
犬山踊芸祭実行委員会	犬 山 市
桜花学園高等学校インターアクトクラブ	名古屋市昭和区
津具剣友会	設 楽 町
豊川市青年団協議会	豊 川 市
日本ボーイスカウト愛知連盟岡崎第8団	岡 崎 市
日本ボーイスカウト愛知連盟江南第3団	江 南 市

◆ 団体の部（青少年育成団体）	
団 体 名	所 在 地
名古屋市立御田中学校PTA	名古屋市中村区
名古屋中川モラロジー事務所青年クラブ	名古屋市中川区
東知多少年補導委員会	半 田 市

私の意見

—子供と共に成長できる場所—

しおかぜ太鼓 作曲・指導者 滄 木 寿 広

私は豊橋市にある“しおかぜ太鼓”の作曲兼指導者として子ども達に和太鼓を教えています。

しおかぜ太鼓は平成三年に青少年の健全育成を目的に発足され、これまでに問題傾向のある少年や、自閉症をもった子どもも受け入れて積極的に指導してきました。和太鼓の技術だけでなく挨拶や礼儀、人との関わり合いも指導し、人として成長できる場として日々稽古に励んでいます。出演は1年に50回程あり、老人ホームでの演奏からお祭りや企業のイベント、地方のホールでの公演など様々で、色んな経験を積みながら沢山の人の関わりあえる機会を頂いています。



■ 楽しみながら学ぶ ■

「皆、本当に楽しそうに太鼓を叩いていて見ているこっちも笑顔になれた。」

しおかぜ太鼓の演奏を見て頂いた方から最も多くかけて頂ける言葉です。私達の自慢は何よりも元気と笑顔であり、そのためにも厳しいだけではなく、楽しいと感じながら練習できるようにレクリエーションを取り入れ、子どもの笑顔を引き出す事を心掛けています。メンバーの年齢は幅広いですが、小学生から大人まで何の隔たり無くアットホームで温かい雰囲気を作る事も、楽しいと感じる為に必要だと思っています。その輪の中で自然と子ども達が協調性や社会性を身につけて、一人ひとりが自立した大人へ成長していければ、と思っています。

■ 自信のコントロール ■

最近では県外からも出演の依頼があり、多くの人の関わり合う機会も増えました。そこで出会った人達から、メンバーは嬉しい言葉や時には厳しい意見をもらいながら成長し、自分に自信をつけていきます。この自信は良い方向へ人を変えてくれます。和太鼓は自分を映す鏡の様な楽器だと聞いた事がありますが、本当にその通りで内気な子も初めは小さく叩くだけしか出来なかったのが、自信をつけ大きく叩けるようになる頃には、心を開きとてもよく話をする様になります。

自信過剰になり自己を過信する様であれば厳しく接し、心を開けない子どもにはその人の良い部分を見つけ、褒めながら次の目標をつくり自尊心を持たせる事も指導者の役目だと思っています。

これからも子ども達の笑顔を引き出し、そして見て頂く人も幸せになれる様な演奏ができる様、子ども達と一緒に頑張っていきたいと思います。



平成26年度少年の主張愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県教育委員会・西尾市・西尾市教育委員会・愛知県青少年育成県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催する「少年の主張愛知県大会」が、8月22日(金)に西尾市文化会館で開催されました。県内305校の中学校から、54,251名の応募があり、各地区から選ばれた14名の中学生が日頃からの思いや自分の考えを力強く発表しました。

発表の内容は、自分の生き方や家族、学校生活、国際理解、や伝統文化など、さまざまでしたが、いずれも社会や世界、そして未来に向けて前向きな考え方をもち、行動しようとする意欲が感じられ、その熱意に会場を埋めた聴衆からは盛んな拍手がわき起こりました。

各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した若杉亜以さん(西尾市立鶴城中学校3年)が、全国大会の出場候補者に推薦されることになりました。

*「共感賞」は西尾市の中学生審査委員8名が最も共感できる作品を協議して選出しました。

種 別	題 名	受 賞 者
最優秀賞 (愛知県知事賞)	自分を乗り越えて	西尾市立鶴城中学校 3年 若杉 亜以
優秀賞 (愛知県議会議長賞)	人の心にふれたとき	みよし市立三好丘中学校 3年 齊藤 永那
優秀賞 (西尾市長賞)	小さな「ヘイワ」と 世界平和	半田市立青山中学校 3年 金井 遼介
優秀賞 (愛知県教育委員会賞)	小さくなっていく日本語	蟹江町立蟹江中学校 3年 國松 玲那
優秀賞(愛知県青少年 育成県民会議会長賞)	「当たり前のこと」	名古屋市立一柳中学校 3年 岡中 愛
奨励賞(同上)	普通って一体なに？	知立市立竜北中学校 3年 岩井 鈴音
奨励賞(同上)	「見えない中にこそある 大切なもの」	蒲郡市立塩津中学校 3年 岩瀬 真帆
奨励賞(同上)	祖父と私	豊田市立足助中学校 3年 佐林あやめ
奨励賞(同上)	私の兄	北名古屋市立白木中学校 3年 田邊明日見
奨励賞(同上)	「私の挑戦は世界を 変える」	一宮市立南部中学校 3年 谷口 杏
奨励賞(同上)	国籍を越えて	豊橋市立東陽中学校 3年 中村 安菜
奨励賞(同上)	平和のつばみたち	刈谷市立依佐美中学校 3年 林 和奈
奨励賞(同上)	チュークの空の下	田原市立東部中学校 3年 森下 諄紀
奨励賞(同上)	ひろがる「わ」	豊田市立梅坪台中学校 3年 若山 真由
共感賞*	「当たり前のこと」	名古屋市立一柳中学校 3年 岡中 愛



最優秀賞作品紹介

「自分を乗り越えて」

西尾市立鶴城中学校 3年 若杉 亜以

「私の体には大きなやけどの跡がある。」

二歳の頃、私はつたない足取りでキッチンへ行き、熱湯に手をかけ、それを頭からかぶり、大やけどを負ってしまいました。それから小学校入学までの四年間、五度の手術と入退院を繰り返し、幼い頃の私の記憶のほとんどは、病院での入院生活。外で遊べない。友達もいない。痛くて苦しい日々でした。しかしそんな時、ある人と出会いました。同じ病室にいた、私より十歳くらい年上のお姉さんです。お姉さんは、手術のせいで、肩をいつも上げていなければなりませんでした。それなのに、私を気にかけてくれて、たくさん話をしてくれました。

「今ね、医者になるために勉強してるの。」

そんな話をしているうちに、私は漠然と医者になりたいと思うようになっていました。

小学校に上がり無事に退院した私は、これからの新しい生活への期待でいっぱいでした。

「早くみんなと遊びたい。一緒に勉強したい。」

私はすぐに友達ができて、一緒に遊んだり、おしゃべりをしたり、テストの点数を競ったり。学校ってこんなに楽しいんだと思うことばかりで、いつのまにか医者になりたいという気持ちも忘れていきました。

しかし、私の心の中のやけどという傷だけは、決して消えることはありませんでした。

夏になって薄着になると、はっきりとやけどの跡が見えてしまいます。プールでは必ず、

「どうしたの、その傷。」

と聞かれます。悪気はないと分かっているけど、気持ちがどんどん暗くなっていきました。

「小さい頃やけどしちゃって。でも今は、なんともないから大丈夫。」

無理に笑って答えていました。本当は、全然平気じゃないのに……。高学年になると、さらに回りの目が怖くなり、プールを見学するようになりました。みんなのはしゃぐ姿や楽しそうに泳ぐ姿を、プールサイドで見ることが悔しくて悔しくて、

「なんで私だけなんだろう。」

やりきれない思いが怒りに変わっていきました。そして、これまで閉じこめてきた思いが、ついに限界を超えてしまい、

「どうして私はこんな辛い目に合わなきゃいけないの。なんで私なの。」

泣きながら母に訴えました。答えを求めるわけじゃない。ただいらいちをぶつけるだけの私を、母はやさしく受け止めてくれました。

「それはね、亜以だから乗り越えられると思って、神様が与えてくれた試練なんだよ。今、亜以はきっと試されているんだよ。」

これまでの私は、辛いこと、苦しいことはすべて不幸だと思っていました。上手くいかないことから逃げ、傷つくことを恐れて、何もできずにいました。でもこの時を境に、不幸を試練に変えることで、

「自分は試されてるんだ。乗り越えるんだ。」

と思えるようになりました。勉強や部活動、児童会活動。今まで遅れを取った分を取り戻そうと一生懸命取り組むようになりました。

そして中学生になり、自分の夢についてあらためて考えたとき、心の中に、はっきりとした思いがあることに気づきました。

「私は医者になりたい。病気や患者さんと心から向き合える医者になりたい。」

三年生になって進路を真剣に考えるようになった今も、この気持ちは変わりません。やけどの跡は消えないけれど、それが自分の良さだと思えるようになりました。なぜなら、このやけどのおかげで、患者さんの心の痛みを分かってあげられる医者になるという夢をもつことができたから……。

医者になるのは簡単なことではありません。これからも、やけどのことで辛い思いをするかもしれない。でもそれらを乗り越えながら、もっともっと成長したい。この場で夢を語る勇気をもてたこと。ここが私のスタートラインです。夢をただの夢で終わらせないよう、顔を上げ、前を向いて、私は一歩ずつ前へ進んでいきます。

新会員団体の活動を紹介します

「障害をもっている生まれ育った地域で暮らし続けたい」

特定非営利活動法人金曜グループ 理事長 小塚 重康

*手作りお菓子と雑貨の店 “またどうぞ”

無添加のクッキー、パウンドケーキなどの焼き菓子、ジャムなどお菓子を製造、販売。

*お弁当屋さん “キッチンなかよし”

手作りにこだわった体にやさしいお弁当を製造、販売。地域の方にお弁当を配達。町の高齢者向け配食サービス業者の委託も受けています。(東郷町は県内随一の長寿の町です！)

*ノーマ農園

町内の休耕地を畑にして、自然栽培で野菜を育て、新鮮な野菜を販売。



どれも決して大きな規模ではありません。ただ、そのどれにも知的障害をもつ方が関わっています。

NPO法人金曜グループのある東郷町は、名古屋市の東隣に位置する人口約4万2千人の小さな町です。約20年前、町内の知的に障害を持つ小学生の親が毎週金曜日に集まるようになったのが金曜グループの始まりです。その頃まだ日本では、知的障害者＝入所施設という考えが主流でした。

しかし、障害があっても生まれ育った地域で暮らし続けられるように、という思いで、その為には何が必要か？と考え、地域への啓発、色々な人と関わることができるよう各種イベントを開催、お泊り会などを続けました。

そして社会でも徐々に“地域福祉”の考え方が広まってきました。

2004年にはNPO法人格を取得、以後、障害福祉サービス、地域支援事業を行っています。当時、小学生だった子が、前出のお店で元気に働いており、すっかりお客さんの人気者です。また、障害をもつ子の親も順に退き、今は職員が主になり運営しています。

現在行っている事業

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ■ 生活介護事業 | なかよしハウス（キッチンなかよし） |
| ■ 就労継続支援B型事業 | またどうぞ（手作りお菓子と雑貨の店またどうぞ） |
| ■ 共同生活援助事業
（グループホーム） | スカイブルーホーム
ミッキーホーム |
| ■ 地域生活支援事業 | なかよしハウス |
| ■ 日中一時支援事業 | スーパーハウス |



日中一時支援事業では、平日は放課後の支援（小学生～高校生）、土曜・日曜は中学生から大人を対象にカラオケ、ボウリング、ウォーキング等、その年代の人達が普通にしているであろう余暇の過ごし方をできるようにと、支援をしています。

入所施設に入らなくても、仕事をして、家（グループホーム）に帰り、休みの日には友人と出かける。それを自分自身の稼いだお金ですという、ごく普通の事のはずなのに今まで難しかったことが少しずつ現実となっています。

現在、NPO法人として活動していますが、社会福祉法人となるように準備を始めています。

「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏期）」を実施しました ～「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」～

愛知県と愛知県青少年育成県民会議では、青少年が有害環境等に接する機会が多くなる夏休み期間に合わせて、平成26年7月1日（火）から平成26年8月31日（日）までの間を「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」の夏期強調期間と定め、青少年の非行・被害防止のための広報啓発活動、各種の運動を集中的に実施しました。

この運動の一環として、青少年団体関係者、市町村青少年担当者、少年センター関係者、教育関係者、警察関係者、行政関係者など約120名により、次の活動を実施しました。

<日 時> 平成26年7月18日（金）

時 間	行 事 名	場 所
14:00 ～ 15:30	保護者のための 体験！体感！スマホ教室 ～ 危険を知って安全に使おう ～ 講師 縁エキスパート株式会社	名古屋市教育館 2階講堂
15:45 ～ 16:00	愛知青少年サポートパトロール隊（あいち声かけ隊）出発式 県民運動のスローガン唱和 【スローガン】 非行の芽 はやめにつもう みな我が子	同上
16:00 ～ 16:30	非行・被害防止キャンペーン	栄駅周辺

「保護者のための 体験！体感！スマホ教室」を実施しています。

携帯電話やスマートフォンが急速に普及し、子どもたちがインターネットを介した犯罪や被害に巻き込まれる事案が後を絶たない中、まずは、大人がスマートフォン等に対する知識や理解を深め、保護者としての責任を持つことが大切です。

そこで、愛知県では、実際にスマートフォンに触れて、危険性を認識するとともに、正しい使い方などを習得していただく講師出張型の教室を平成27年3月まで随時開催しています。

○教室の概要

中高等学校等の生徒の保護者やその他（地域の集いなど）を対象に1教室あたり2時間以内、30人以内で、学校の教室、地区の公民館などへ県の委託事業者から3名の講師を派遣し、実際にスマートフォンを使って子どもたちが日常どんなことをしているか、LINEを使いたいじめはどんなものか、どうしてスマートフォンを使って性的被害に遭ってしまうのかなど、実際にあった事例を擬似的に体験することで、知識や理解を養い、子どもたちを犯罪・被害から守る手段を習得します。

費用は不要です。携帯電話、スマートフォン、パソコン等を不得手と感じている方に配慮した内容となっています。

○申込先

縁エキスパート株式会社（愛知県委託事業者） 電話 052-858-3111



「青少年によい本をすすめる県民運動」読書感想文を募集中です

平成26年10月1日から1か月間、「育てよう 豊かな心 読書から」のスローガンのもとに、愛知県と愛知県青少年育成県民会議の主催により「青少年によい本をすすめる県民運動」強調月間を展開しています。この運動では、はがきによる読書感想文を募集し、選考の上、愛知県書店商業組合から児童図書または全国共通図書カードが贈られます。運動期間中に次の募集図書を読み、ふるって応募してください。

- 応募方法 はがき（または同じ大きさの用紙）の裏に本の題名と感想を書き、応募してください。なお、表面には住所・氏名のほか学校名・学年（又は職業・年齢）をお書きください。
- 応募先 〒460-8501（住所不要）愛知県庁内 愛知県青少年育成県民会議事務局 「読書感想文」係
- 締 切 11月6日（木）（必着）

読書感想文募集図書一覧

作 品 名	著 者 名	出版社	本体価格
-------	-------	-----	------

幼児向

ライオンをかくすには	ヘレン・ステューヴンズ	ブロンズ新社	¥1,400
さかさまになっちゃうの	クレア・アレクサンダー	B L 出版	¥1,400
はやくちまちしょうてんがい はやくちはやあるきたいかい	林 木林	偕成社	¥1,100

小学校低学年向

ねずみのオスカーとはるのおくりもの	リリアン・ホーバン	のら書店	¥1,300
ナースになりたいクレメンタイン	サイモン・ジェームズ	岩崎書店	¥1,300
ふしぎなタネやさん	宮西 達也	金の星社	¥1,300

小学校中学年向

ぼくはここで、大きくなった	アンヌ・クロザ	西村書店	¥1,300
セコイア 世界でいちばん高い木のはなし	ジェイソン・チン	福音館書店	¥1,300
ねこじゃら商店世界一のプレゼント	富安 陽子	ポプラ社	¥1,000

小学校高学年向

ゾウの森とポテトチップス	横塚 眞己人	そうえん社	¥1,300
命のバトン 津波を生きぬいた奇跡の牛の物語	堀米 薫	佼成出版社	¥1,500
月の満ちかけ絵本	大枝 史郎	あすなろ書房	¥1,200

中学生・高校生向

はるかなるアフガニスタン	アンドリュー・クレメンツ	講談社	¥1,400
発電所のねむるまち	マイケル・モーパージュ	あかね書房	¥1,200

青年向

何者	朝井 リョウ	新潮社	¥1,500
想像ラジオ	いとう せいこう	河出書房新社	¥1,400

11月は子ども・若者育成支援県民運動の強調月間です

今日、子ども・若者をめぐっては、少年非行やいじめ、危険ドラッグ、違法・有害な情報の氾濫など、問題が山積する一方、ひきこもりなど社会的自立の遅れも深刻化しています。この機会に、子ども・若者を取り巻く環境を、大人自身がもう一度見直すとともに、地域における子ども・若者育成支援のネットワークの輪を広げていきましょう。

★ スローガン 「育てよう 自分に勝てる子 負けない子」

★ 内 容 広報啓発活動、パトロール活動、大会・シンポジウム・研修会の開催等

編集後記

5月26日の県民会議総会で会長が岡谷氏から永井氏に引き継がれました。岡谷氏におかれましては長きにわたり会長を務めて頂きありがとうございました。今後ともご指導ご助言をお願いいたします。

また、8月22日に少年の主張愛知県大会が行われました。各地区から選ばれた14名の生徒の真剣に発表する姿に新鮮な感動を感じました。皆さんのこれからのご活躍を期待します。